

# ユニオンファンド 月次レポート

第 210 号

追加型投信 / 内外 / 株式 分配金再投資専用ファンド

2026年5月11日作成

## MONTHLY TOPIC

### 原油と AI に揺れる相場で考えたこと

「しばらく辛抱が必要かもしれませんが、持ち続け買い続ければきっと報われると信じています」と前月号で書きました。「辛抱が必要」という予想は外れましたが、「報われる」という後半は幸いにも間違っていなかったようです。4月の株式市場は、多くの不安材料を抱えながらも大きく上昇しました。中東の混乱による原油価格の上昇を警戒し、私を含め慎重な見方をした投資家は少なくありませんでした。「ここは買い場です」と言うべきだったのだろうかと考えましたし、今現在についても、上がっているが恐れず買うべきなのか、それとも少し熱狂気味だから気を付けた方が良いのか、市場を見ながら難しさを日々感じています。

#### 動いているのは一部の投資家。焦る必要はない

株価の動きは激しく、売買代金も膨らんでいます。「このままでは取り残されてしまう」と感じている方もおられるかもしれませんが、実際にはそれほど多くの方が売買しているわけではありません。正確な数字を把握することは難しいのですが、証券会社や取引所のデータをもとにした推計では、ここ数か月の間に実際に活発な売買をした個人投資家は1~2割程度ようです。この推計値が正しければ、10人のうち8~9人は普段通り保有を続け、売り買いはしていなかったということになります。

東京市場では、個人投資家のうちで非常に活発に動いているのはデイトレーダーと呼ばれる一部の人たちです。また、売買シェアの多くを握る海外勢の多くは機関投資家と言われるプロたちであり、高速取引を含む大量購入で株価を押し上げている面が強いのが実情です。多くの投資家が積極的に買っている状況とは思えませんので、「自分も何かしなければ」と焦る必要はないでしょう。

#### 未来を巡る期待と不安に振り回されず、長く居続けることが大切

今の上昇相場を語るうえで欠かせないのが AI です。調べれば調べるほど、聞けば聞くほど、社会そのものを大きく変える力を秘めていると感じます。20世紀前半から世界に広がっていった自動車、電気、石油化学、そして20世紀末にスタートした IT 革命は、「便利」というのを乗り越えた大変化を経済や人々の生活にもたらしました。AI もまた、私たちの社会を別のステージに押し上げようとしているように見えます。

期待が強い一方、不安や不気味さもあります。新しい産業が誕生していく一方で、消えていく仕事もありそうです。株式市場は、そうした期待と不安、熱狂と冷やかな現実を織り交ぜながら、これからも揺れ動くことでしょう。だからこそ、株価の上げ下げに振り回されないことが大切です。長い時間をかけて市場の中に居続けることこそが、最終的に大きな果実をもたらすに違いない——そんな思いを改めて強くしています。

久保田徹郎

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## ユニオンファンド運用状況

(2026年4月末現在)

## 基準価額

47,854 円

## 純資産総額

178 億 17 百万円

## 期間別騰落率(%)

1 ヶ月	9.02%
1 年	30.95%
3 年	53.07%
5 年	58.32%
10 年	139.85%
設定来	378.54%

## 複利年率(%)

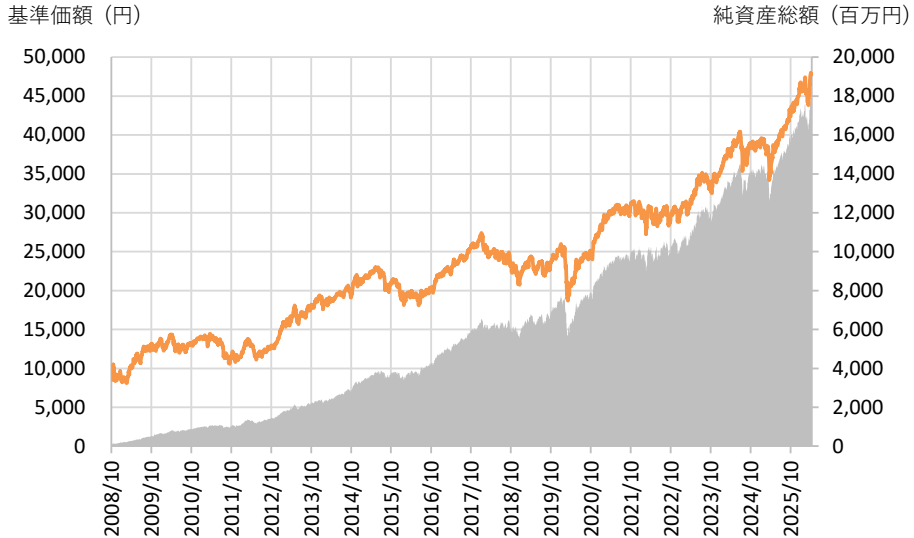
9.34%

\* 騰落率は過去の実績値であって、将来の成績を約束するものではなく、また受益者ごとの購入時期によって異なります。

\* 「複利年率」は、設定日から基準日までの騰落率を年率（複利）で表したものです。

\* 設定来、分配の実績はありません。

## 基準価額と純資産総額の推移（設定来、分配の実績はありません。）

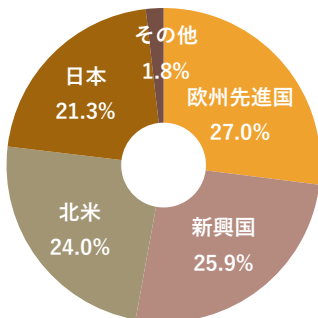


## 組入ファンドの内訳

ファンド名	主な地域	組入比率(%)	月間騰落率(%)※
さわかみ F	日本	4.5%	4.6%
スパークス F	日本	14.0%	11.8%
キャピタル F	欧米	20.6%	10.7%
ハリス F	欧米	18.2%	5.3%
コムジェスト・ヨーロッパ F	欧州	9.3%	8.2%
コムジェスト・エマージング F	新興国	22.1%	15.9%
現金等	-	11.3%	-

※ 騰落率はユニオンファンドの基準価額に反映する日付で計算

## 地域別構成比



投資部分(現金等を除く)に占める比率  
(2026年3月末現在)

## ファンドの特長

- ① 長期で「債券」の収益率を上回るとされる「株式」に投資します
- ② 世界の経済成長を享受するため、「グローバル」な視点で投資します
- ③ 専門性の高い複数ファンドに投資する「ファンド・オブ・ファンズ」で運用します
- ④ 実績のある資産運用会社の「アクティブ」ファンドに投資します
- ⑤ 株価が割高と思われるときには現金比率を高め、割安局面での買い増しに備えます

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## UNION FUND REPORT

## 2026年4月の市場動向と運用状況

## 投資環境

4月の世界の株式市場は3月の大幅下落から一転して急上昇し、S&P500やナスダックといった米国の主要な株価指数や日経平均株価などが過去最高値を更新しました。

2月末に米国とイスラエルがイランを攻撃した後、ホルムズ海峡は事実上の封鎖状態が続いており、原油価格は上昇が止まったといえ開戦前より高水準で推移しました。原油の供給減少は経済活動にマイナスに働く一方、価格の上昇はインフレ圧力を高めるとの懸念から、FRB（米国連邦準備制度理事会）の利下げ期待は遠のき、欧州でもECB（欧州中央銀行）の利上げ予想が広がりました。こうした中で株式市場が好調だったのは、一つには、米国とイランの間の停戦合意以降、戦闘が比較的小規模なものにとどまり、さらには両者の間で和平協議が断続的に行われるなど、解決への期待が維持されたからです。

もう一つの大きな理由は、AIや半導体関連企業の業績が急拡大するとの期待が多くの投資家の間に広がったことです。AI向け半導体やクラウド関連企業は、市場の従来予想を上回る設備投資計画や業績拡大見通しを発表し、データセンターで使われる多種類の半導体などへの需要が大幅に拡大するとの投資家の楽観見通しをさらに強めました。市場別には、米国と新興国が特に好調でしたが、これは、米国が石油の純輸出国であり、マクロ経済面で相対的に有利な状況にあることと、株式市場においてもテクノロジー企業の割合が他の国や地域より大きいためです。また、新興国は台湾と韓国の半導体・電子部品株が上昇をけん引しました。

## 運用の状況

ユニオンファンドは大幅に値上がりしました。ただ、上昇率が高かった米国株の保有割合が小さいため、市場の上昇率を若干下回りました。なお、保有ファンドのうちではコムジェストEMFの値上がり率が最大でした。売買は見送りました。月末の組入比率は88.7%と、前月から上昇しました。

## 今後の見通し

今後の第一の焦点は、引き続きイラン情勢と原油価格の方向性でしょう。恒久的な和平合意が成立し、ホルムズ海峡の安全な航行が可能になれば、原油価格が大きく低下してインフレと金利を押し下げますから、実体経済にも株価にも追い風となるでしょう。ただ、現在の株式市場は、危機がさらに悪化することはないとの前提で動いていると見られ、その前提が崩れた場合には強い調整圧力がかかりかねません。また、足元のインフレ再燃リスクが大きいことにも注意が必要です。世界の製造業の現場では、生産に必要な原材料の価格上昇が幅広く進んでおり、販売価格も高まり始めています。

イラン情勢の悪化で3月には空売りポジションが積み上がりましたが、その買い戻しが4月の株価急伸を増幅させた面があると見られています。今後も買い戻しのエネルギーが続くかどうかは、やや微妙かもしれません。また、史上最大とされる新規上場（IPO）が予想されており、市場への影響が関心を集めそうです。バリュエーションの面では、AI・半導体関連の一部銘柄の予想PERが高水準であることも注意点です。業績の爆発的な拡大が高PERの裏付けとなっていますから、データセンターの建設の遅れや半導体価格の高騰による費用の増加などが成長見通しの引き下げにつながらないかどうか、注目していく必要があるでしょう。

運用責任者 久保田徹郎

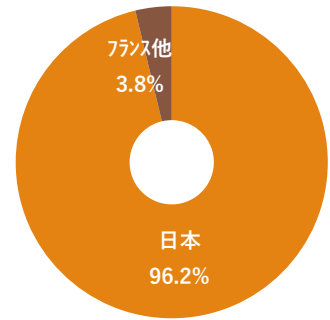
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# さわかみファンド

基準価額の推移



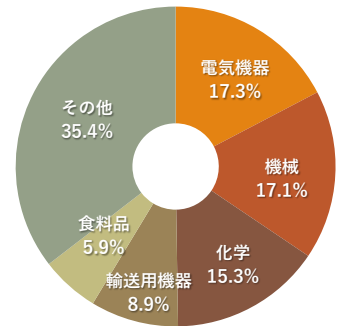
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 信越化学工業	4.8%	日本	化学	塩ビ・シリコンエー世界大手
2 ディスコ	3.4%	日本	機械	半導体等の切削・研磨装置
3 INPEX	2.9%	日本	鉱業	石油・天然ガス開発
4 ダイキン工業	2.7%	日本	機械	エアコン世界大手
5 スズキ	2.2%	日本	輸送用機器	自動車、自動二輪車
6 ソニーグループ	2.2%	日本	電気機器	ゲーム・音楽・映画・電子機器等
7 日立製作所	2.0%	日本	電気機器	総合電機世界大手
8 トヨタ自動車	2.0%	日本	輸送用機器	自動車世界大手
9 セブン&アイHD	1.9%	日本	小売業	大手総合小売業
10 浜松ホトニクス	1.8%	日本	電気機器	光検出器の世界的企業
<b>上位10銘柄</b>	<b>26.1%</b>		<b>現金等</b>	<b>19.8%</b>

業種別構成比



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2026年4月末現在 >

# スパークスF (スパークス・集中投資・日本株ファンドS)

基準価額の推移



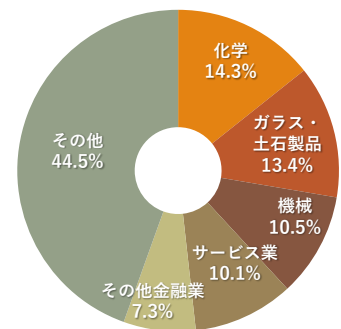
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド) ※組入比率の記載はなし。証券コード順。

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
ライト工業		日本	建設業	法面保護・斜面安定工事等
上村工業		日本	化学	メッキ用化学品大手
メック		日本	化学	電子基板用薬品
横浜ゴム		日本	ゴム製品	大手タイヤメーカー
MARUWA		日本	ガラス・土石製品	セラミック基板世界トップ
ダイフク		日本	機械	保管・搬送システム大手
マックス		日本	機械	鉄筋結束機、ステープラー
山洋電気		日本	電気機器	冷却ファン・サーボモーター等
SBIホールディングス		日本	証券・商品先物取引業	金持ち株会社
トーセイ		日本	不動産業	不動産流動化・開発・賃貸等
<b>現金等</b>			<b>現金等</b>	<b>5.9%</b>

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：東証33業種、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 < 2026年3月末現在 >

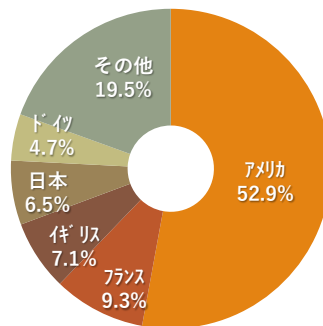
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# キャピタルF (キャピタル・グループ・グローバル・エクイティ・ファンド(LUX)クラスZ)

基準価額の推移



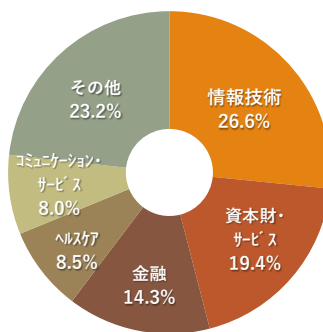
国別構成比



組入銘柄トップ10

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 Alphabet	4.5%	アメリカ	コミュニケーション・サービス	グーグルの持株会社
2 Broadcom	4.1%	アメリカ	情報技術	無線・通信向け半導体等
3 TSMC	3.5%	台湾	情報技術	半導体メーカー
4 Microsoft	3.2%	アメリカ	情報技術	世界最大のコンピュータ・ソフト
5 Apple	2.8%	アメリカ	情報技術	デジタル機器・ソフト大手
6 ASML	2.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
7 JPMorgan Chase	2.2%	アメリカ	金融	世界大手総合金融グループ
8 NVIDIA	2.0%	アメリカ	情報技術	AIコンピュータ最大手
9 General Electric	1.9%	アメリカ	資本財・サービス	航空機エンジン
10 AstraZeneca	1.8%	イギリス	ヘルスケア	薬品会社
上位10銘柄	28.5%		現金等	4.6%

業種別構成比



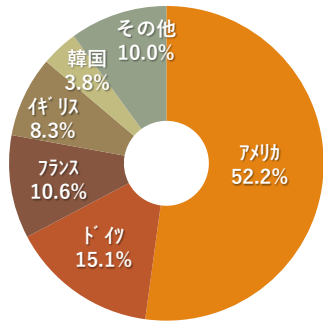
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年3月末現在>

# ハリスF (ALAMCOハリス グローバルバリュース株ファンド2007)

基準価額 (分配金込み) の推移



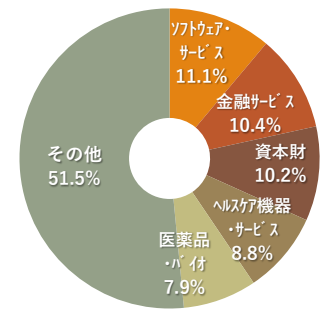
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 アイキューヴィア	3.3%	アメリカ	医薬品・バイオ	薬品会社向け臨床研究・試験等
2 BNPパリバ	3.1%	フランス	銀行	フランス大手銀行
3 エアビーアンドビー	3.0%	アメリカ	消費者サービス	民泊仲介サイト
4 セールスフォース	2.9%	アメリカ	ソフトウェア・サービス	クラウド型営業支援・顧客管理
5 アディダス	2.8%	ドイツ	耐久消費財・アパレル	スポーツウェア世界大手
6 サンベルト・レンタルズ	2.7%	アメリカ	資本財	建設・工業・一般機器のレンタル
7 BMW	2.5%	ドイツ	自動車・自動車部品	自動車世界大手
8 フィリス・タワーズ・ワトソン	2.4%	イギリス	保険	リスク助言、保険仲介、コンサル
9 モンデリーズ・インターナショナル	2.4%	アメリカ	食品・飲料・タバコ	スナック菓子大手
10 ダイムラー・トラック	2.4%	ドイツ	資本財	商用トラック、バス
上位10銘柄	27.7%		現金等	5.9%

業種別構成比(マザーファンド)

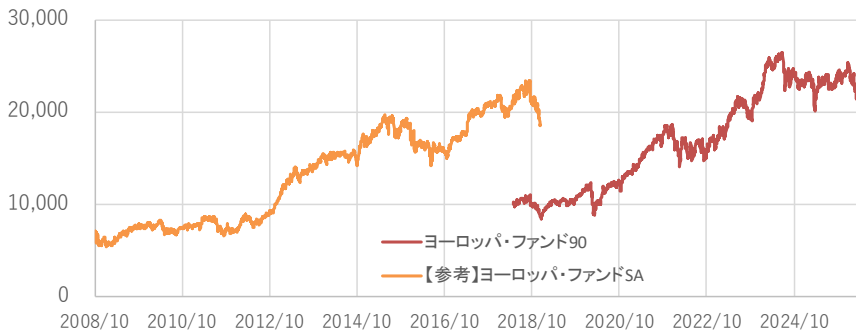


※ 業種：MSCI世界産業分類基準の25産業グループ、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年3月末現在>

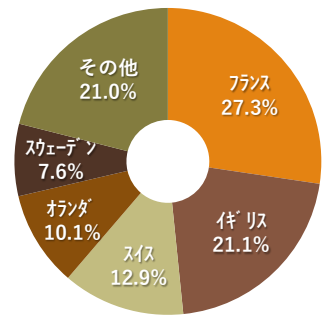
◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

# コムジェスト・ヨーロッパF (コムジェスト・ヨーロッパ・ファンド90)

基準価額の推移



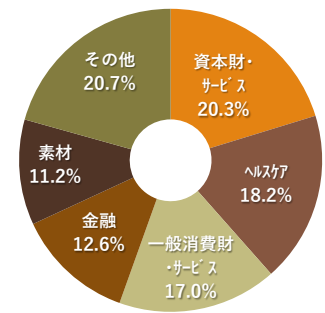
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 ASML	5.5%	オランダ	情報技術	半導体製造装置メーカー
2 SCHNEIDER ELECTRIC	4.5%	フランス	資本財・サービス	電気設備、エネルギー管理
3 ADYEN	4.4%	オランダ	金融	国際決済システム
4 ALCON	4.4%	スイス	ヘルスケア	眼科医療機器・薬剤
5 AIR LIQUIDE	4.3%	フランス	素材	産業ガス世界大手
6 LONDON STOCK EXCHANGE	4.3%	イギリス	金融	金融市場のデータ・インフラ
7 NOVONESIS	4.2%	デンマーク	素材	食品用酵素・微生物等
8 INDITEX	3.7%	スペイン	一般消費財・サービス	アパレルメーカー
9 ESSILORLUXOTTICA	3.6%	フランス	ヘルスケア	光学製品
10 RELX	3.5%	イギリス	資本財・サービス	ビジネス顧客向け情報・分析
上位10銘柄	42.4%	現金等	2.2%	

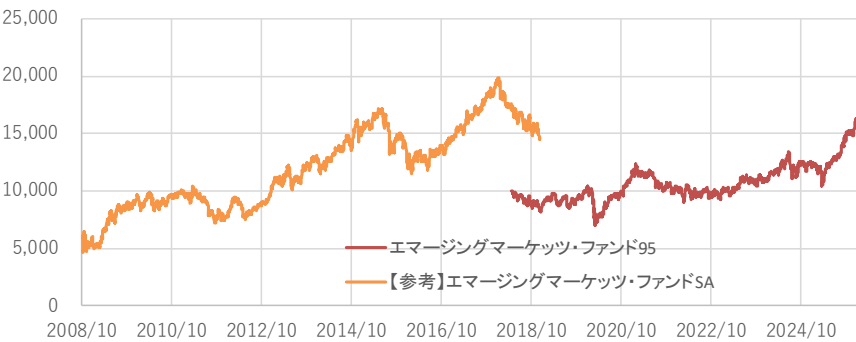
業種別構成比(マザーファンド)



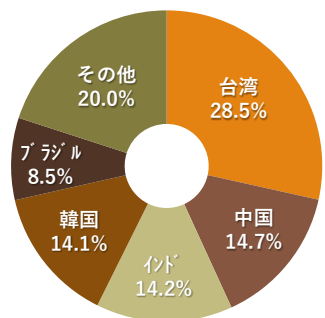
※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年4月末現在>

# コムジェスト・エマージングF (コムジェスト・エマージングマーケット・ファンド95)

基準価額の推移



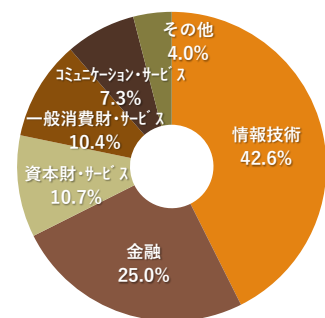
国別構成比(マザーファンド)



組入銘柄トップ10 (マザーファンド)

組入銘柄等	比率	国籍	業種	業務内容等
1 DELTA ELECTRONICS	10.3%	台湾	情報技術	電源、変圧器
2 TSMC ADR	9.7%	台湾	情報技術	半導体メーカー
3 SK HYNIX	9.6%	韓国	情報技術	半導体メーカー
4 ASPEED	6.3%	台湾	情報技術	半導体
5 TENCENT	5.2%	中国	コミュニケーション・サービス	ソーシャルネットワーク等
6 CONTEMPORARY AMPEREX TECH	4.0%	中国	資本財・サービス	EV用バッテリー
7 DISCOVERY	3.8%	南アフリカ	金融	南アフリカの保険会社
8 SAMSUNG ELECTRONICS	3.6%	韓国	情報技術	家電・電子部品大手
9 B3	3.4%	ブラジル	金融	大手証券取引所
10 CAPITEC BANK	3.4%	南アフリカ	金融	南アフリカの銀行
上位10銘柄	59.1%	現金等	2.5%	

業種別構成比(マザーファンド)



※ 業種：MSCI世界産業分類基準の11セクター、構成比：投資部分(現金等を除く)に占める比率 <2026年4月末現在>

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## NOTICE

## 業務管理部からのお知らせ

### マネー・ローンダリング、テロ資金供与及び拡散金融対策等へのご協力をお願い

金融機関において、マネー・ローンダリング、テロ資金供与及び拡散金融への対策の重要性が、近年高まっております。こうした中、金融庁では金融機関がとるべく対応方針として、2018年2月に「マネー・ローンダリング及びテロ資金供与対策に関するガイドライン」を策定・公表しております。

このような背景から、弊社でも法令等で求められている情報に加え、お客様情報の確認事項として、定期的にご資産情報等を「ご登録内容等確認事項届」にて確認させていただいております。

今年も2月下旬から弊社へ口座をお持ちのお客様（定期的な確認をさせていただきたい方）に「ご登録内容等確認事項届」をお送りさせていただいており、早速、数多くの皆さまよりご提出いただき誠にありがとうございます。

お手元に届いてからまだご提出いただけていないお客様、未記入箇所等があり「追加でのご記入のお願い」のご案内にて返却させていただきましたお客様におかれましては、大変お手数をおかけいたしますが、ご提出（弊社住所まで）のほど、何卒よろしくお願い申し上げます。

※ 今後も、書面・電話等で定期的にご登録情報を確認させていただくこともございますので、ご理解・ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

マネー・ローンダリング、テロ資金供与及び拡散金融とは、

犯罪や不当な取引で得た資金を、正当な取引で得たように見せかけたり、多数の金融機関を転々とさせることで、資金の出所をわからなくしたりする行為や、テロの実行支援等を目的としてテロリスト等に資金を渡す行為、及び核兵器などの大量破壊兵器の拡散に関与する者へ資金を渡す行為をいいます。

### 月次レポート受取方法について

**【受取方法：「E-mail」または「不要（弊社HPで直接閲覧）」のご選択にご協力ください。】**

現在月次レポートを「郵送」でお受取りのお客様で、インターネット・E-mailをご利用いただける環境をお持ちの方がおられましたら、「受取方法の「E-mail」への変更」に是非ご協力ください。

- ・月次レポートは、弊社ホームページ（HP）に掲載しております。
- ・レポート受取方法で「E-mail」をご選択の場合、弊社HPに掲載の都度、メールにてご案内いたします。「不要」をご選択の場合でも、弊社HPにアクセスいただければ、いつでもご覧いただけます。

ご変更は、弊社業務管理部へのご連絡（TEL:0263-38-0725）、または弊社HPの「お取引について」→「メールアドレス・月次レポート受取方法変更」にてお手続きください。

**エコの観点からも印刷紙削減を目指しております。ご理解・ご協力のほど、何卒よろしくお願いいたします。**

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。

## RISK AND FEE

## ユニオンファンドのリスク・手数料

### 『ユニオンファンド』のリスク

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご覧ください。－

ユニオンファンドは、主に国内外の株式などに投資する投資信託証券等に投資するファンド・オブ・ファンズの形式で運用を行います。組入れる投資信託証券等は、株価変動、金利変動や債券発行者の経営・財務状況の変化等で値動きします。また、為替相場の影響を受ける投資信託証券等もあるため、ファンドの基準価額も変動し、損失を被ることがあります。したがって、投資家の皆様の投資元金は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元金を割り込むことがあります。

当ファンドの主なリスクは、「価格変動リスク」、「為替変動リスク」、「カントリーリスク」、「信用リスク」、「流動性リスク」です。

### 『ユニオンファンド』の手数料等

－ 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご覧ください。－

**申 込 手 数 料** お申込みにあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

※スポット購入時の購入用口座への振込手数料はお客様負担となります。

**換 金 手 数 料** ご換金（解約）にあたって弊社にお支払いただく手数料はありません。

**信 託 財 産 留 保 額** ありません。

**信 託 報 酬** 純資産総額に年 0.88%（税抜 年 0.8%）の率を乗じた額です。

毎日、信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます（基準価額は信託報酬控除後の価額です）。

[\*実質的な信託報酬（概算）：純資産総額に対して年 1.8% ± 0.3%（税込）]

\*実質的な信託報酬の率は、『ユニオンファンド』が投資対象とする投資信託証券にかかる信託報酬を含めたものです。あくまでも目安であり、組入状況により変動します。

※ 信託報酬にかかる税金は、税法等が改正等された場合、変更になることがあります。

**そ の 他 の 費 用** 上記のほか、次の手数料・費用等が信託財産の費用として計上され、基準価額に反映されます。

- ① 組入有価証券等の売買の際に発生する売買委託手数料（消費税等相当額の費用を含みます。）
- ② 信託事務の処理に要する諸費用、受託会社の立て替えた立替金の利息、監査法人から監査を受けるための費用（監査費用）（消費税等相当額を含みます。）

※ 監査費用は弊社が一部または全部を負担することがあります。

◆このレポートは、ユニオン投信株式会社が「ユニオンファンド」に関する情報提供を目的として作成したものであり、当該投資信託受益権およびその他の有価証券の取得を勧誘するものではありません。また、「金融商品取引法」および「投資信託及び投資法人に関する法律」に基づく開示書類ではありません。◆当該投資信託の取得を希望される方は必ず投資信託説明書(交付目論見書)の内容をご確認のうえご自身の判断でお申し込み下さい。◆このレポートは信憑性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。また、記載された意見・見通し・評価結果等は作成日時点のものであり、将来の市場環境等の変動を保証するものでもなく、将来予告なしに変更することがあります。